

Ikiiki  
Maebashi  
Jin



映画に初主演  
手島 実優さん・17歳  
青柳町

## 求められる役柄演じきりりたい

藤橋誠監督が県内で撮影する映画「グリモン〜DREAM OF FLYING CAR〜」に、ヒロイン役での出演が決まった。「映画に出演するのは初めてで、実は緊張しています。監督のイメージを確かめて、しっかりと役づくりをして撮影に挑みたいです」

小4から演劇を始め、現在は市内の劇団ザ・マルクシアターで活躍している。「普段は周りに合わせてしまう性格。だけど演技では、その役柄になりきることで新しい世界が見えてきます。それが演じることの魅力です」女優の二階堂ふみさんや満島ひかりさんの芝居が好きだという。

「憧れの女優はたくさんいますが、一番刺激をもらっているのは、いつも一緒に練習している劇団の先輩たち。すごい人ばかりなんです」この映画は「まち映画」という、地域住民が主体となって制作することで地域おこしを目指す同監督の手法で、4月から撮影が始まる。

「映画館で映画を見ると本当に多くのことを感じることが出来ます。普段あまり映画を見ない人や同年代にも見てもらえるよう頑張りたいな」自身が映画や演劇から多くのことを学んできた。その素晴らしさを伝えたいという思いは、まち映画や役に真摯に向き合う姿勢に表れている。

# クロースアップ CLOSE UP アップ。

## 熱戦の5日間



1月28日から2月1日まで、第70回国民体育大会冬季大会「2015ぐんま冬国体」のフィギュアスケートとショートトラック競技が関根町の総合スポーツセンターアイスアリーナで開催。全国から選手が集い、トップレベルの競技が繰り広げられました。



## 私と アーツ前橋 Vol. 10

この連載では、市民に寄稿してもらい、さまざまな角度でアーツ前橋を紹介します。第10回は、中央通り商店街にある鈴木ストアの大橋純子さんです。

### 新しい風

大橋 純子さん・56歳



アーツ前橋ができて1年と少し。何となく前橋の空気が変わってきていると感じているのは私だけでしょうか。若いアーティストたちが街を拠点にして活動を始めています。

以前にはなかったような光景が日常的に目につくようになりました。そんなアーティストとの交流も地域の中で自然に生まれ、私自身のアーツへの身構えも少しずつ少なくなってきたと思います。中でも、韓国から来たアーティストのヘヴン・ベクとの出会いがとても印象に残ります。彼女は11月から2カ月間前橋で滞在制作を行いました。芸術の素養のない私は、応援はするけれど、アーツに関しては「傍観者」と決め込んでいたのですが、ヘヴンの熱意や人柄もあって、ワークショップなどに参加。ほんの少し殻を破った自分を見つけられたことが貴重な体験です。

アーツの魅力は、クリエイティブな活動に参加して非日常を楽しむ、固定化されていた今までの生活が、新しい刺激で多様化する、豊かになる。そんなところにもあるのかなと私は勝手に解釈しています。今、アーツ前橋から風が吹いています。この風がこれからの前橋の暖かい追い風になればと思います。

問い合わせは  
アーツ前橋 ☎027-230-1144